

木古内町立木古内小学校

【総合的な学習の時間、社会】

■ 地域住民・関係機関の協力による農業体験活動

★活動に関連する目指す子ども像



「よく考える子」

「進んで実行する子」

□ 活動の概要



地域の特徴的な畜産や農業に関する探究的な学習を通して、地域のよさを再発見するとともに、地域住民の協力のもと協働的に学ぶことにより、学びの質を高めることをねらいとして、第3学年の総合的な学習の時間に、地元産業に関する体験学習を実施しています。

□ 活動の具体

- ・地域の生産者の協力のもと、じゃがいもの収穫体験や、はこだて和牛の畜産農家・ほうれん草農家の施設見学等を行っています。
- ・地域産業に関する事前学習「木古内ウォッチング」を踏まえ、施設見学で生産者にインタビュー等を行うほか、見学等で学んだことをもとに、1人1台端末を使って、まとめた内容の発表を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・第3学年の社会科「働く人とわたしたちの暮らし」と関連させて体験活動を実施することにより、学習活動の充実が図られるようにしています。
- ・児童が地域住民と交流しながら学習を進められるよう農業体験等、年間を通じて連携を位置付けた指導計画を立てています。